



タック

TACの家庭菜園教室



TAC（タック＝営農経済渉外）が家庭菜園を行う際のポイントや注意点などをじっくり分かりやすく解説いたします！

梅雨に負けない！雨対策のポイント

6月は梅雨の影響で雨の日が続き、野菜にとっては過湿や病気が発生しやすい時期です。すでに栽培中の畑でも、ちょっとした工夫で被害を防ぐことができます。

【水をためない工夫をしよう】

長雨による根腐れを防ぐには、排水対策が重要です。

- ・畝の周囲や畝間に溝を掘り、水の逃げ道をつくる
- ・株元に土を寄せて、軽く高くする
- ・プランターは台の上に置き、底からしっかり排水させる

👉「水をためない環境づくり」が基本です。

【雨よけで病気予防】

雨に当たると病気が広がりやすくなります。

- ・支柱とビニールで簡易的な雨よけを設置
- ・移動できる鉢は軒下へ

👉特にトマトなどは雨よけの効果が高い作物です。

【風通しをよくする】

湿気がこもると病気の原因になります。

- ・混みあった葉を間引く
- ・地面に近い下葉を取り除く

👉風が通ることで、葉が乾きやすくなります。



【 病虫害は早めに対処 】

梅雨は病気や害虫が増える時期です。

- ・ 葉の斑点や変色を見つけたら早めに取り除く
- ・ ナメクジやアブラムシをこまめにチェック

👉 被害が広がる前の対応が大切です。



【 追肥はタイミングよく 】

雨で肥料が流れやすくなります。

- ・ 雨の合間や雨上がりに追肥
- ・ 液体肥料は薄めて回数を分けて施す



【 泥はねを防ぐ 】

雨で跳ねた泥が病気の原因になることもあります。

- ・ ワラやマルチで地面を覆う

ひとことアドバイス

梅雨時期は「水をためない・風を通す・早めに対処」がポイントです。天気の合間を上手に使い、こまめに様子を見て管理しましょう。

※来年に向けては、梅雨前に畝をやや高めに作っておくと、より安心です。



お問い合わせ 肥料・資材等のお申し込み

JA足利 営農振興課 ☎0284-22-4433(担当:TAC) 経済課 ☎0284-70-3071